



亀中だより

No.1 令和6年4月10日 文責 岡田



For The Students!

亀山中学校は、大正6年(1917年)に亀山第一・第二両尋常高等小学校を廃止して設置された亀山尋常高等小学校高等科の現在の姿です。その後1947年4月の学制改革により亀山中学校という名前が使われるようになり、さらに1954年10月の市制施行に伴い亀山市立亀山中学校となりました。

また亀山市は、江戸時代には、藩校・明倫館(舎)が置かれるとともに、各地域でも寺子屋や私塾で熱心な教育が行われていたこともあり、「教育のまち」と呼ばれてきた歴史を持っているそうです。そして我が亀山中学校は、この明倫館(舎)の跡地に立地しているのです。

この歴史と伝統に支えられた亀山中学校で学校長として4年目を迎えました岡田健次です。私にとってはこの「学校だより」が、生徒のみなさん、保護者のみなさん、そして子どもたちを支えていただく地域のみなさんに、いろいろなことをお伝えする数少ないツールとなります。発行は不定期ではありますが、できるだけタイムリーな発行を心がけ、亀山中学校からの発信に努めていきたいと思っております。一年間よろしくお願いたします。



令和6年度スタート! ~鮮やかな桜とともに~

4月8日に令和6年度の着任式、始業式を、9日には令和6年度入学式を行いました。今年は14名の先生方に着任していただき、着任式では11名の先生から自己紹介とご挨拶をいただきました。また新たな風を亀山中学校に吹かせてくれそうな予感のする着任式でした。

年々桜の開花が早まり、昨年などは入学式においては、そのほとんどが散ってしまっていました。しかし今年は、3月下旬の冷え込みや日照不足の影響でしょうか、開花が遅れ、いくぶん不安定な天候ではあったものの、始業式、入学式では満開の桜を見ることができました。新入生とともに、令和6年度の亀山中学校の船出を祝ってくれているような気にさせられます。



3年生の
学級開きの様子から

前期生徒会役員・委員長決定！

3月13日に前期生徒会役員選挙・立会演説会が行われました。立会演説会では立候補した生徒、責任者のすべてのみなさんが、とても凛々しく、誠実さが伝わってくる話しっぷりでした。選挙のため、当落もあったのですが、誰がこの役を担うことになっても亀山中学校を背負っていくことのできる人たちだなと感じました。結果として、下のみなさんが前期生徒会役員・委員長となりました。選挙に一票を投じたすべての生徒、そして残念ながらその役を担えなかった人たちの分もこれからの活動をよろしくお願いします！



<前期生徒会役員>

会長	新玉 愛斗 (3-5)	生活委員長	山田 夢空 (3-5)	美化委員長	平澤 穂佳 (3-4)
副会長	山中 心寧 (3-5)	安全委員長	伊達 心海 (3-4)	福祉委員長	前田 旺志郎 (3-2)
	立花 菜穂 (3-2)	図書委員長	千種 杏実 (3-5)	広報委員長	清木 陽彩 (3-2)
	橋本 咲良 (2-5)	保健委員長	古川 優菜 (3-4)		
	高園 咲蘭 (2-3)				

School life ... of the students, by the students, for the students!

上の言葉は、前期生徒会役員選挙・立会演説会において、新しい会長に立候補した新玉愛斗さんが述べた演説での言葉です。ご存じの通りアメリカ合衆国第16代大統領エイブラハム・リンカーンの名演説

“Government of the people, by the people, for the people.” (人民の人民による人民のための政治) を使ったものですが、新しい生徒会が、この言葉の通り、生徒のみなさんに手で、生徒のみなさんのためになる活動ができるよう学校としても支えていきたいと思えます。

さて、リンカーンの言葉としては、私からも一つご紹介したいものがあります。それは、**「6時間で木を切り倒せと言われたら、最初の4時間は斧を研ぐことに使いたい」**という言葉で、教職員には令和4年度の第1回職員会議で紹介したものです。どれだけ力がある木こりであったとしても、全然研いでいない斧で木を切ることはできません。どれだけ能力があったとしても、「自分は絶対大丈夫だから」などと捉え、何もしていない斧で木を切ろうとすれば最初は良いかもしれませんが、徐々に切れなくなってしまいます。この言葉には自分を過信してはならないというリンカーンの考え方が反映されています。令和6年度の亀山中学校もしっかりとそのポテンシャルを高めながら、過信することなく、教育活動に取り組んでいきたいと思えます。生徒会本部をはじめ、生徒のみなさん、一緒に頑張っていきましょう！